"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyocho Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

２０２２年７月 ～ ２０２３年６月

国際会長主題　「フェローシップとインパクトで次の100年へ」
アジア会長主題　「新しい時代とともに、エレガントの変化を」
東日本区理事主題「未来に向けて今すぐ行動しよう」
東新部部長主題　ＡＬＬ 東新部、始動！
「Change! 2022 ラストスパート、ポスト始動」

会　長　今井　武彦
副 会 長　神保伊和雄
直前会長　城井　廣邦

書　記　伊丹　一之
会　計　福島和州太郎
担当主事　由井　卓哉

２０２２年１１月本例会（729回）

（ 強調月間：Ｂ Ｆ ）

今月の聖句

光の子として歩みなさい。光の結ぶ実は、あらゆる善と義と真理との内にあるからです。
（エフェソの信徒への手紙 5-8～9）

Walk as children of light. For the fruit of light is found in all that is good and right and true.

11 月 本 例 会

日 時　2022 年 11 月 15 日（火） 18：00～20：00
場 所　東京ＹＭＣＡ東陽町センター ＹＭＣＡホール
会 費　1,５００円

*ご欠席の方は、11/11までに福島会計までご連絡ください。

１１月　ＢＦについて）

BF（Brotherhood Fund）
BF代表や国際役員公式旅行の費用を賄う、国際協会の基金。過って使用済み切手を集め、整理、切手市場で換金する方法が主力であったが、緒事情で現金での拠出が大きくなり、当クラブもそれに従っている。（長谷川　記）

HAPPY BIRTHDAY　2日　神保 久子
結婚記念日おめでとう　該当者なし

東京むかで クリスマス例会のご案内！！

日 時：１２月２０日（火）18：00～
場 所：東京ＹＭＣＡ東陽町センター

１１月　本例会プログラム

受 付　伊丹 一之
司 会　伊丹 一之
開会点鐘　会 長　今井 武彦
ワイズソング　一 同
ゲスト・ビジター紹介　司 会
今月の聖句・感謝　神保 伊和雄
楽しい食事
卓話　「東京ＹＭＣＡ学院の働きについて」
東京ＹＭＣＡ学院 学院長　堀口 廣司
（元 東京むかでクラブ担当主事）
強調月間アッピール　長谷川 正雄
ハッピーバースデー・結婚記念日　司 会
スマイル　伊丹 一之
諸報告
閉会挨拶・点鐘　会 長　今井 武彦

２０２２ 年 １０月 の 記 録（＊累計は期初からの24累計）				月 の 記 録（＊累計は期初からの24累計）		
会 員 出 席 状 況				メーキャップ記録	スマイル	15,000円
正 会 員	8 名	出席(メネット)	0 名	福島和州太郎 10/8東新部部会	ＢＦポイント 現金累計	円
功労会員	1 名	出席(コメット)	0 名		切手累計	
在籍者数	9 名	出席(ゲスト)	4 名			
出席(正会員)	6 名	出席(ビジター)	1 名		リングプル 累 計	630.5kg
出席(功労会員)	1 名	例会出席総数	12 名	10月出席率 88%	むかで基金 今月分	15,000円

会費振込　みずほ銀行　亀戸支店 （普通）３０１３０７１　東京むかでワイズメンズクラブ

10 月 本 例 会 報 告

10月本例会は10月18日（火）18：00より、東京YMCA東陽町センターYMCAホールで開催されました。司会は今井武彦会長が担当、続く開会点鐘も会長のお役目とあり、慌ただしい開幕となりました。ワイズソングの後、司会者から、卓話者及びゲストとして、由井卓哉主事と共に「野尻学荘」でご苦労された石川聡平さん、井部大夏さん、野村証一さんのリーダーと、都合でZoom参加の本田良章ディレクターが紹介されました。

今月の聖句・食前の感謝は神保伊和雄君が行い、久々、升本の味を楽しみました。

卓話は、8月6日（土）から同19日（金）まで、3年間の空白を埋めるべく開催された、第85回「野尻学荘」の報告を、由井主事とゲスト4名の方々からいただきました。（10月号に主事の詳細報告を掲載） 主事からのご説明を受け、ゲストの皆様からも想いを重ねていただきました。

ボーイズ36名、関係スタッフ他6名の62名で開荘致しました。コロナ禍での開催とあり、多方面に亘る協議、検討、更に具体的に感染時対策などを考えてのスタートでした。

一息ついた開荘1週間後、陽性者が発生、野尻学荘中止の判断回避を念頭に、状況把握と対応策検討を厳しく求めました。ボーイズのグループは小学生＝2、中学1・2年生＝2、中学3年生＝1、高校生＝1の6グループ編成、残念乍ら中学1・2年生の2グループを含め、約半数の方が離荘。現場を預かった主事の重い声が響きます。

石川さん【写真右】は大学2年生。中学3年生のグループ担当で初リーダー、ご自身は幸いに発熱もなく、限られたプログラムの中、夢中で過した2週間でした。

野村さん【写真左】は中学1年から5年間のボーイズ生活、大学2年生の今期は中学1・2年生のカウンセラー担当のリーダーデビュー。3日目位には、何とかやれそうだ！と思い始めた矢先、ボーイズ、ご自身共々陽性、濃厚接触者に、離荘の決断です。

井部さん【写真左】はボーイズ7回、今期3回目を社会人リーダーで臨みましたが、過ってリーダーから学んだ様に、ボーイズ達との交わりが持てない日々に苛立ちが残りました。

・一同で食事の場を持つ事が許されない ・大きな声での語り合いや歌うことが許されない ・実習プログラムを組むことが出来ない ・遠泳も取りやめ・・・等々を目の前に思案が続き、更に低学年のボーイズ達の心に不安定さが観られる頃には限界すら感じられた筈で、深刻さが観える様です。

リーダーとしての思いを重ねた日々にあって、この3年間の空白でリーダーのトレーニンが出来ず、更にリーダー減が予想され「継続が厳しくなる」と、3人共が危機感を口にされました。それは学荘で育まれた皆さんだからこそ、発せられる想いだったのでしょう。

かなりの犠牲の上での選択、「このことの検証と評価を的確に行い、来年の野尻学荘につなげたい」と語られる由井主事の言葉にすべてが集約されていました。ご出席いただいたリーダーの皆様に感謝申し上げ、又お会い出来る機会が近いことを念じました。

【10月例会終了後の記念撮影】

強調月間、スマイルと進め、東新部部大会での前期部長表彰案内が会長よりあり、城井廣邦君に伝達されました。又、城井君からは、野澤寛枝君の病状説明があり、一同一時でも早い回復をお祈りしました。

最後に、この会に相応しく「楽しい生活・美しい湖水よ」を歌い、会長の閉会の挨拶、閉会点鐘で会を閉じました。

・出 席 者：今井、伊丹、城井、神保、長谷川、由井
・Zoom出席：櫻井、髙津（休会）
・ゲスト、卓話者（本年度 野尻学荘参加者）：
石川聡平 （グループリーダー）
野村証一 （グループリーダー）
井部大夏 （社会人リーダー）
Zoom出席：本多良章 （Dir） （敬称略）（長谷川 記）

第２６回 東 新 部 部 大 会 報 告

10月8日（土）13：30～16：30まで第26回東新部部大会が、在日本韓国YMCAアジア青少年センターで久し振りに開催されました。参加者は、会場参加47名弱、Zoom参加12名余でした。

第1部：深尾香子部長の点鐘でスタート。佐藤重良東日本区理事の会員増強への熱きメッセージ。菅谷淳東京YMCA総主事のYMCA機関紙へのワイズコーナーの設

欄スタート報告。朱在日本韓国YMCA総務の2023年3月末で同アジアセンターの休館の発表がありました。

最後に、前期東新部表彰が発表され、当クラブの城井廣邦兄が表彰されました。

第2部:「YMCA・ユース・ワイズのパートナーシップがあるからこそ出来ること」と題して、学びの時が与えられました。

1. 海外にルーツを持つ「子供たち」への支援について:
   NPOメタノイア代表 山田拓路氏
   要旨:①言葉の壁、②制度の壁、③心の壁
   これらを乗り越え生きるために多様性を認め、この様な子らが世の光になれる社会を作るため支援を。
2. 海外にルーツを持つ「親たち・子どもたち」への支援について:在日本韓国YMCA 田附和久氏
   要旨:在日本韓国YMCAは朝鮮人留学生により1906年に設立された。日本からの独立後は、在日韓国人の支援、1981年には、現在の会館設立、民族教育開始、今日に至る。
3. カヤグム(韓国伝統楽器)の演奏が、金幸子氏らにより行われました。

第2部の閉会挨拶は次期東新部部長今井武彦君が行いました。

第3部:懇親会が久し振りにFace to faceで懇親の時をもちました。

出席者:今井、神保、長谷川、福島　　(今井 記)

会　長　通　信

10月12日、Zoomでの東新部会長会が開催されました。その席上、次年度東新部部長に指名されています私に、11月開催の東新部評議会で、会長以外の部役員候補者の承認を摂るように準備する様に指示されました。

今は、ロースター会員名簿から候補者を自分なりに選考中です。会員名簿を見たら、大なり小なりむかでクラブと同様な状況であることを確認しました。

さてどうするか、むかでの皆さんに知恵を授けていただかなくてはと思っています。10月の当クラブの本例会には、今夏の野尻学荘キャンプのリーダー3名をお迎えして、コロナ禍での野尻学荘キャンプについての苦労話を聴く機会を与えられました。そして、野尻学荘リーダーの先輩である「高齢むかでメンバー」からのアドバイスが良かったと思います。

まさに、そのやり取りの様子は、「爺」が「孫」に優しく諭すような口振りでした。素晴らしい。

私たち「爺」同志で語るときは、そのような優しい態度で語り合うことができず、感情むき出しで話し合うことが多いのではないでしょうか？

反省、反省、反省・・・　　(今井 記)

＜ １１月の予定 ＞

1日(火) 東京多摩みなみ・11月本例会
7日(月) 東京町田コスモス・11月本例会
8日(火) 東京・11月本例会
10日(木) 東京センテニアル・11月本例会
15日(火) **東京むかで・11月本例会(東陽町センター)**
16日(水) 東京町田スマイリング・11月本例会
18日(金) 東京世田谷・11月本例会
22日(火) **東京むかで・第二例会 Zoom(18:00～)**

＜ １２月以降の予定 ＞

20日(火) 東京むかで12月例会(東陽町センター)
27日(火) 東京むかで12月第二例会(Zoom)

むかでワイズの例会に出席して

今回、私達は第85回野尻学荘に参加したリーダーとして、むかでワイズの例会に参加させて頂きました。

私達はいずれも小・中学生の頃に野尻学荘にボーイズとして参加していた経験のあるリーダーですが、そんな私達にとってむかでワイズの皆様が、毎年学荘の様子を見に来て下さり、活動を応援して下さる方々といった印象でした。しかし昨今のコロナ禍という厳しい社会状況下で、今年は学荘の開催もギリギリであったことにより、皆様には野尻に足を運んで頂くことができませんでした。そんな中、私達がリーダーを代表してむかでワイズの方々にお会いして、今年の学荘について報告ができたことを光栄に思います。

今回の例会では、ディレクターの由井さんから今年の学荘について詳細な報告があった後、私達3人からリーダーとして学荘に参加した感想、感染症と隣り合わせという中でどのような活動をし、どのような苦労があったかなどをそれぞれ述べさせていただきました。

それらを聞いて下さったむかでワイズの方々から様々な質問や感想を頂き、私達にとっても今年の学荘について振り返る良い時間となりました。そのような今回の学荘の経験を活かし、来年以降の学荘にどう繋げていくかなどをこれから考えていこうと思います。今後とも応援の程よろしくお願い致します。　　野村証一、石川聡平、井部大夏

(10月本例会にご出席のリーダーから、寄稿いただきました。)

東京ＹＭＣＡニュース

▼入試予定情報
社会体育保育専門学校:11月12日・26日・12月17日
国際ホテル専門学校:11月12日・26日・12月17日

▼シーズンプログラム募集告知
スキーキャンプ、キャンプ、日帰りデイキャンプ、プール、

短期英語クラスなど、多数のプログラムを下記の日程からWEB申込を開始します。

【受付開始】11月4日（金） 12:30～

▼その他

【江戸城ファミリーウォーク】動乱の幕末を歩く（11/23）

歴史街道＆地形たんけん隊主宰の小島康氏の講演後、お話に因んだ現地訪門。受付開始は10月24日（月）～

【エッセイ募集】豊かな福祉社会を創るために

愛恵福祉支援財団と共催し、今年もエッセイを公募

テーマ:「 断絶を乗り越えて 」

締　切: 11月11日（金）

対　象: 学生、専門職、一般、外国籍の各部

【高等学院】こどもの育ちを考える講演会（11/26）

精神科医の田中哲氏によるオンライン講演。

テーマ:「教室に入れない～子供をとりまく『何か』」

【山手70周年】OBOG・現役リーダー会（11/27）

山手センター70周年を記念した一日限りの特別な「リーダー会」。現役、OBOGのご参加をお待ちします！

【合同祈祷週礼拝】Ignite～火をつける

世界のYMCA/YWCAでは、合同祈祷週を定め、世界中で祈りを合わせています。お気軽にご参加下さい。

日 時:11月17日（木） 18:30～19:30

会 場:在日本韓国YMCA ＊Zoom配信あり

説 教:増田琴氏（経堂緑岡教会牧師）

【日本YMCA大会】2年毎の開催。今年は対面式。

国内のYMCA関係者が集い、学びと交流を深めます。

日 時:11月25日（金） 15:00 ～27日（日） 13:00

会 場:YMCA東山荘／Zoom

対 象:YMCAに関わるすべての方

参加費:一般33,000円、ユース22,000円、Zoom3,000円

【東陽町クリスマスオープンハウス】（12/11）　（由井 記）

１０ 月 第 二 例 会 報 告

第二例会は10月25日（火）18:00よりZoom方式で開催しました。主な協議、確認事項は以下の通りです。

【10月第二例会スクリーンショット】

1. ブリテン11月号の編集内容協議、確認

担当は長谷川君。各原稿依頼確認。伊丹君からの配信は、本例会2週間前を基本。印刷は例会時16:30より。

2. 12月クリスマス例会について

昨年同様、石丸泰樹牧師にクリスマスメッセージ、丸山もと子さんの奏楽で、リアル方式とし、食事は通常通りとする。

3. 12月11日（日）のクリスマスオープンハウスについて。

・今井メネットがケーキを調理し、販売予定。保存、包装作業、予算、当日の出席者など、更に検討を進める。

4. その他

・機関紙「東京YMCA」ワイズコーナー11月号掲載のむかでクラブ紹介原稿は、会長最終調整案提出を了解。

・11月10日（木）東京YMCAにほんご学院（望月温学院長）の「はなそうDAY」に、今井メン、メネットが出席。

・神戸ポートクラブクリスマス例会12月16日（金）・17日（土）は神保君出席、第3回東西日本区交流会・神戸2023年2月4・5日には今井会長が出席予定。

・強調月間は東日本区行事予定を確認:11月BF、12月キリスト教理解・IBC、1月BF・JEF・・・　（長谷川 記）

出席者:今井、伊丹、神保、長谷川、福島、由井

１０月会計報告 ・ プルタブ報告

１ 月間収入・支出合計　　期間 10/1～10/28

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	0円	15,820円
活動基金部	15,000円	0円

■月次収支合計:　▲820円

■現預金残高（2022/10/28現在）: 675,869円

（収支の主な内訳）

・経常収入: ― 円

・経常支出: 例会食事代10,800円、講師謝礼3,120円

・郵送費: 1,680円

・活動基金収入: スマイル15,000円

・活動基金支出: ― 円　（福島 記）

２ プルタブ10月預かり分

協力者名	重量	協力者名	重量
長谷川正雄 G	1.0kg	今月合計	1.0kg

毎月このコーナーの、神保伊和雄節の主が原稿送信後、頭部、目のまわりの帯状疱疹の診断で、即一週間程の入院指示。お互いに節制せよ！の忠告の様です。

ようやく630㎏台に！主へは何よりの励ましですが、数字の全てが、皆様、日頃からのご協力の賜物です。

改めて感謝申し上げます。　（代 長谷川 記）

編 集 後 記

コロナ禍でオンラインでの会話が日常の手段になりました。10月本例会では、この夏の学荘運営で苦労された主事はじめ、リーダーの皆様からの報告会がもたれました。

顔を見乍らの、決して多過ぎない会話に、冷めやらぬ野尻の風を感じ、深い想いを受け止め合う場が与えられました。感謝！　（長谷川 記）